

【個別事業】 4 高齢者の健康づくり

事務事業	現況(H17年度見込)	区分	平成22年度目標・考え方	H18～22年度の整備(事業)量
(1)健康相談・健康教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり保健相談 72回 ・健康づくり栄養相談 144回 ・出張型健康相談 13回 300人 ・健康・運動相談 20回 500人 ・健康手帳交付 4,300件 ・健康応援講座 転倒骨折予防 3日制 7回 530人 脳卒中予防 3日制 6回 550人 脳卒中再発予防 2日制 6回 250人 認知症予防 3日制 6回 550人 ・健康づくり運動教室 (中・高年対象・再掲) 1日制100回 延2,000人 4日制6回延600人 ・出張型健康教育 8回 150人 ・骨いきいき健康づくり事業 8回 320人 	<p>充実</p> <p>充実</p> <p>充実</p>	<p>高齢者の方々の“元気で長生き”を応援し健康寿命を延ばすために事業を推進します。</p> <p>①健康相談の充実 従来の健康相談(栄養・保健)に歯科相談を加えた高齢者健康相談を実施し、多職種の連携により高齢者特有の身体状況にあわせた健康相談を実施します。また虚弱高齢者等を選出し必要なサービスを受けられるように助言、指導をおこないます。また所内のみでなく、高齢者のあつまる場所での出張相談も実施します。</p> <p>②健康手帳の交付 健康手帳に介護予防に関する知識を盛り込むとともに、介護予防についてかかれた小冊子を作成し、健康相談、健康教育で活用を図ります。</p> <p>③健康教育の充実 ア 元気はつらつ講座 主として元気高齢者を対象として、老化による生活体力の衰えを予防し、いつまでも健康でいきいきとした高齢期が過ごせるように、運動・栄養・生活・歯科の具体的な事柄をテーマにした健康教育を実施します。また依頼に応じた出張講座や、区民の身近な施設へ出張して健康教育を実施します。</p> <p>イ 健康応援講演会 主として元気高齢者を対象として介護予防の必要性などを高齢者本人のみではなく、高齢者を抱える家族の問題として十分自覚し認識してもらうため、講演会を実施します。</p> <p>ウ 骨いきいき健康づくり事業 主として高齢者を対象として、健康づくり月間(敬老の日)に骨密度測定を実施し、健康相談等を行います。</p>	<p>高齢者健康相談 6保健相談所内 月2回×6所 年144回 所外出張 年4回×6所 年24回 高齢者の認知症相談 年4回×6所 年24回 健康・運動相談 (中・高年対象・再掲) 年12回</p> <p>健康手帳交付 年5,000件</p> <p>元気はつらつ講座H18年整備量(年次毎に増加) 6保健相談所内(運動) 年48回 6保健相談所外(栄養・生活・歯科)年46回 健康づくり運動教室 (中・高年対象・再掲) 1日制 年30回 延600人 4日制 年 8回 延800人</p> <p>健康応援講演会 年26回 延2,000人</p> <p>骨いきいき健康づくり事業 8回 320人</p>

事務事業	現況(H17年度見込)	区分	平成22年度目標・考え方	H18～22年度の整備(事業)量
介護予防課 健康推進課 保健相談所	<p>認知症予防検討委員会を立ち上げました。また、高齢者生活地域調査をつうじて18年度以降の実情に合った具体的な計画を立案しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防検討委員会、地域懇談会の開催 ・啓発活動 <p>パンフレットの作成 1,000枚、講演会2回、説明会・報告会など4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防対策 高齢者生活地域調査3,000名 ・人材の育成 認知症予防推進員育成研修会など5回 	新規	<p>④認知症予防事業</p> <p>認知症予防の考え方や具体的な取り組みが理解され、区民が主体的、継続的に認知症予防活動をおこなっており、地域にも認知症予防に有効な活動が多数存在する状態を目指します。</p> <p>区全域において総合福祉事務所の管轄地域ごとに地域型認知症プログラムの立ち上げ・実施、人材の育成、高齢者関係団体や自主グループへの支援などを行います。</p>	<p>18年度はモデル地区(練馬総合福祉事務所管内)において実施</p> <p>啓発活動 パンフレット作成 講演会など 開催</p> <p>人材育成 ファシリテーターなどの研修開催</p> <p>地域型認知症予防プログラムの実施</p> <p>自主グループの育成や高齢者団体などへの支援</p> <p>19年度以降、総合福祉事務所管轄地域ごとに順次拡充</p>
		新規	<p>⑤高齢者の歯と口の健康教育事業</p> <p>多くの高齢者がう蝕や歯周病に罹患しており、歯の喪失や口腔機能の低下をきたしています。その結果、低栄養状態を招くこともあります。</p> <p>このため、高齢者が健康で質の高い生活を送るために、う蝕や歯周病の重度化を予防し、歯の喪失を防ぎ、口腔機能について理解を深めてもらい、健口体操や口腔清掃の普及・啓発を図ります。</p> <p>健康相談日を設けて、歯科健診・歯科相談・口腔機能の検査(噛む力や口腔粘膜湿潤試験)・口腔衛生指導(食前の健口体操、食後の口腔清掃の普及・啓発)などを行います。</p>	検討・実施

事務事業	現況(H17年度見込)	区分	平成22年度目標・考え方	H18～22年度の整備(事業)量
(2)高齢者の食に関わる事業 介護予防課 健康推進課 保健予防課	高齢者の食生活講習会 6回140人 ・配食サービス 114,299食 ・会食サービス 10,251食 ・保健・介護福祉施設研修 1回	充実 充実 充実	①食生活講習会 高齢者が生活能力や生活機能の維持・増進を目的とし、食品の選択、調理方法等食生活支援の講習会を開催します。 ②食事サービス事業 ひとりぐらしの高齢者等で、食材料の調達や調理が困難な方や低栄養などの健康悪化が見込まれる方に食事を提供し、「食」の自立を図っていくとともに、合わせて安否確認も行う。 ③栄養管理サービスのネットワーク事業 「食」を通じて高齢者の保健福祉の向上を図るため、保健・福祉・医療施設等の管理栄養士を中心とした栄養関係者の連携システムづくりを行います。	高齢者の食生活講習会 年48回 960人 (20年度) 配食サービス 年 223,334食 会食サービス 年 14,673食 栄養管理サービス会議(保健・医療・福祉)年3回
(3)高齢者健康診査事業 健康推進課	対象者 124,000人 受診者 75,000人 受診率 60.5%	充実	区民の高齢化が進む中、日頃の健康づくりに加えて、病気の早期発見・早期治療のために、高齢者健康診査がますます重要になってきます。健康診査の役割と医療の役割の整理を行う一方、健康診査後の事後指導の充実を図ります。	対象者 年128,000人 受診者 年 78,000人 受診率 60.9%
(4)がん検診事業 健康推進課	(65歳以上再掲) 胃がん検診 1,840人 子宮がん検診 950人 乳がん検診 720人 肺がん検診 780人 大腸がん検診 9,000人	充実	がんの早期発見・早期治療のために、区民にがん検診の必要性について啓発を行う一方、検査方法に検討を加えるなど検診の内容の向上を図ります。	胃がん検診 年1,935人 子宮がん検診 年1,040人 乳がん検診 年 780人 肺がん検診 年 900人 大腸がん検診 年66,000人

事務事業	現況(H17年度見込)	区分	平成22年度目標・考え方	H18～22年度の整備(事業)量
(5)生きがいづくり・社会参加促進事業		新規	<p>①社会参加ガイドブックの作成 区民等と協働で高齢者の社会参加のきっかけづくりになるガイドブックを作成します。</p> <p>②高齢者(区民)主体の取り組みの支援 さまざまな分野において、高齢者(区民)主体の社会参加が促進されるよう支援します。</p>	社会参加ガイドブックの作成
		新規	<p>ア(仮称)地域福祉パワーアップカレッジ事業 高齢者をはじめとする区民の経験や能力を最大限に活かし、区民と協働で築く地域福祉を実現するため、(仮称)地域福祉パワーアップカレッジ事業を実施します。</p>	カレッジ開設(4コース)
		充実	<p>イ 老人クラブへの支援 高齢者が身近な地域で社会奉仕やいきがい活動を行う場として、さらに、介護予防の担い手として老人クラブや老人クラブ連合会の活動を支援します。また、高齢者の関心や価値観の多様化に対応した魅力ある活動を支援し、団塊の世代をはじめとした多様な高齢者の集う場とするため、助言・指導を行います。</p>	老人クラブ会員数 16,000人
		充実	<p>ウ 高齢者サークルへの助成 高齢者サークルが実施する事業のうち、会員以外の参加者が新たに活動するきっかけを提供する事業について、その経費の一部を助成します。</p> <p>③生涯学習機会の創出の促進 高齢者の学習意欲に応えるため、高齢者センターで講座等を開催するとともに、練馬区生涯学習プラン21などを踏まえ、生涯学習機会の創出を促進します。</p>	助成団体数 25件/年
<p>・老人クラブ会員数 12,000人</p>	<p>・助成団体数 20件</p>			

事務事業	現況(H17年度見込)	区分	平成22年度目標・考え方	H18～22年度の整備(事業)量
高 齢 社 会 対 策 課 介 護 予 防 課 生 涯 学 習 課	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講座、教室数 35件 ・参加人数 延2,600人 	充実	<p>ア 講座(高齢者センター) 高齢者のいきがいづくりを支援するため、高齢者センターにおいて教養講座などを開催します。</p>	<p>教養講座・各種教室の件数 60件 参加人数 延3,400人</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・寿大学 参加人数 延4,172人 	継続	<p>イ 寿大学 高齢者の教養の向上を図るため、講演会・クラブ活動の内容など充実するとともに、受講機会の均等化を図ります。</p>	<p>寿大学 参加人数 延4,500人/年</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・寿大学通信講座 参加人数 延6,250人 	継続	<p>ウ 寿大学通信講座 手書き文字文化の継承と俳句技能の向上を通じ高齢者の教養を高めるため、書道・俳句の添削講座を実施します。</p>	<p>寿大学通信講座 参加人数 延6,400人/年</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・登録講座数 80講座 	継続	<p>エ 人材情報バンク (「区民発」生涯学習出前講座) 地域のサークル・団体などの要望に応じ、さまざまな趣味や特技を持つ方が講座を出前します。</p> <p>④働く機会の充実 元気で働く意欲のある高齢者を支援します。</p>	<p>登録講座数 120講座</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 3,250人 ・就業実人員 延2,294人 	充実	<p>ア シルバー人材センターへの支援 高齢者にふさわしい仕事を引き受け、会員の経験や技能に応じて仕事を提供する団体であるシルバー人材センターを支援します。</p>	<p>会員数4,200人 就業実人員 延2,875人</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率(就職者/紹介者) 48% 	充実	<p>イ アクティブシニア支援事業の支援 高齢者に臨時的・短期的な仕事などを紹介するアクティブシニア支援事業(シルバー人材センターが運営)を支援します。</p>	<p>就職率 50%/年</p>

事務事業	現況(H17年度見込)	区分	平成22年度目標・考え方	H18～22年度の整備(事業)量
(6)高齢者センター・敬老館事業 高齢社会対策課	<p><高齢者センター 3館> ・利用者数 延136,322人 <敬老館 11館> ・利用者数 延232,000人</p> <p>・高齢者センター 3館 ・敬老館1館大規模改修設計</p>	<p>充実</p> <p>充実</p>	<p>①高齢者センター・敬老館の活用 多くの高齢者に利用していただくため、地域の人材などを活用し魅力ある事業を実施します。また、高齢者センターを中心的な介護予防拠点として位置づけ、筋力向上トレーニングなどの介護予防事業の充実を図るとともに、敬老館でも介護予防のための事業に取り組みます。</p> <p>②高齢者センターの整備・敬老館の改修 区内4か所目となる高齢者センターを整備します。また、敬老館の機能を充実するため、計画的に改修します。</p>	<p><高齢者センター 3館> 利用者数 延154,722人 <敬老館 11館> 利用者数 延271,000人</p> <p>4か所目の高齢者センターの整備 敬老館の計画的な改修</p>
(7)高齢者に配慮した情報提供 高齢社会対策課	30,000部/隔年	<p>継続</p> <p>新規</p>	<p>高齢者の特性に配慮し、情報を提供します。</p> <p>①高齢者の生活ガイドの作成</p> <p>②高齢者向けホームページの作成 高齢者向けのホームページを作成し、高齢者の保健福祉や社会参加などに関する情報を迅速に発信します。</p>	<p>30,000部/隔年</p> <p>高齢者向けのホームページの作成</p>
(8)健康づくりの運動の場と機会の提供 スポーツ振興課	<p>・スポーツ教室 71教室 参加者数 19,570人</p>	継続	<p>スポーツ教室 各種スポーツ教室の活用により、高齢者が日常生活の中で主体的・継続的にスポーツが楽しめるように支援します。(再掲)</p>	<p>スポーツ教室 71教室 参加者年19,900人</p>